

平成 23 年度関西大学博物館企画展

関西大学博物館蔵 本山コレクションの由来 (仮題)

期 間:平成23年4月1日(金)~5月15日(日)

[開館時間] 午前10時~午後4時 (入館は午後3時30分まで)

[休 館 日] 日曜・祝日※ただし、4月3日(日)・5月15日(日)は特別開館

[入 館 料] 無料

[場 所] 関西大学博物館 第2展示室(阪急関大前駅徒歩10分)

関連講演会

5月14日(土)14:30~

講師: 徳田誠志氏

(宮内庁書陵部首席研究官)

※詳細については、決まり次第に博物館ホームページ等でお知らせいたします。

博物館に収蔵する資料の中核は、元毎日新聞社社長 本山彦一が蒐集した考古資料、通称本山コレクションです。重要文化財16点、重要美術品12点を含む約2万点の考古資料からなっています。

この中には、江戸時代後半に浪速大坂の町人学者である木村兼葎堂が所有し、神代石蒐集家の木内石亭が絵図に描いた鋏形石や、モースの大森貝塚発掘に先立つ明治4年に古物研究家の柏木貨一郎が、日本で初めて開催された博覧会「大学南校物産会」に出品した石器類、さらに、初代兵庫県令で貴族院議員、初代東京人類学会会長も務めた神田孝平が、日本各地から集めた石器や土器などがあります。コレクションを作り上げた本山彦一自身が、大正年間に日本や東アジア各地で発掘した膨大な考古資料もあり、まさに明治以降の考古学の歴史をたどれるコレクションとなっています。

展示会では、いくつかの考古資料からコレクションの形成過程を読み解いていきたいと思えます。また本山コレクションを本学にもたらした末永雅雄名誉教授と本山彦一翁のエピソードも紹介いたします。

《同時開催》 博物館学課程創設50周年 記念小展示会

創設当時の実習簿や見学実習時の写真、実習展の図録等を展示します。

併せて、学芸員を目指す学生たちのために蒐集した博物館収蔵品の中から、漆芸作家で人間国宝でもあられる北村昭斎先生の玳瑁螺鈿合子や本学校友の刀匠 河内國平先生鍛錬の太刀一振りも展示します。



背面: 知の巨人 木村兼葎堂がかつて所有した鋏形石 (本山コレクション)

関西大学博物館 関西大学千里山キャンパス 簡文館内

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL:06-6368-1171 FAX:06-6388-9928

<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/index.html>

E-mail: hakubutsukan@ml.kandai.jp